

# 学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	希望ヶ丘高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制普通科
-----	----------	------------------	--------

## 1 学校のミッション

全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に應えるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、幅広い教養を身に付ける教育の充実を通して、課題の解決に向けて主体的に学ぶ意欲を高める教育に取り組んできた。また、豊かな人間性を身に付け、社会の発展に貢献できる人材の育成に向けて、幅広い知識を活用して思考力・判断力・表現力等を育むための不断の授業改善に取り組むなど、これからの時代に求められる資質・能力の育成のための教育活動の充実に取り組んできた。今後も引き続き、全日制全体で、スーパーサイエンスハイスクールとしての取組を充実するとともに、「学力向上進学重点校エントリー校」として学力向上進学重点校の指定に向けて取り組む。

## 2 学校教育目標

- 基本となる知識・技能を身に付けさせ、自ら課題を発見し解決する力を育成し、自己の能力を最大限に発揮できるよう支援する。
- 情報の科学的な整理・分析方法を身に付けさせ、論理的で柔軟な思考・判断・表現ができる力を養い、新たな価値の創造に貢献できる人材を育成する。
- 部活動や生徒会行事を通して人との関りを学び、社会性に富んだ人間の育成を図る。

## 3 計画策定時点での課題

- 自学自習・自律自制・和衷協同の校訓をもとに自主性を重んじた教育活動を行ってきたが、時代の流れや入学生徒の気質の変化から、学習面だけでなく学校行事やマナーに対しても指導が必要となっている。また、多種多様な性的マイノリティーに対して個々のきめ細かな対応が必要という新たな課題も出てきている。
- 進路においては、スーパーサイエンスハイスクールとしての強みを生かした選抜形態での受験を指導・支援したいが、その道筋がまだシステム化されたものとして確立できていない。また、高い志をもって難関校を志願する生徒の割合は多くない。
- 令和5年度より2期目のSSH指定となり、令和6年度から新たな科目「理数探究」を開講した。課題研究を通して、科学的な物の見方や考え方が理系・文系を問わず身に付けられるよう生徒への指導・支援が必要である。授業におけるICT利活用は順調に広がってきている。新着任の教職員へのICT利活用の浸透と、新たな技術への挑戦を今後も継続していかなければならない。

#### 4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>SSHの取組と各教科での取組を関連させ、問題解決能力の育成を図る。</li> <li>新たな教育課程に基づく生徒の進路実現を達成するために指導環境の整備と教育課程の検証・改善、および生徒の学習体制の構築を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒1人ひとりがSSHの取組であるデジタルポートフォリオを活用し、各教科の成果を集約することで教科を越えた学びの総括ができるよう指導を行う。</li> <li>「指導と評価の一体化」を踏まえた主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を進め、生徒の進路実現につなげる。</li> </ul>
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の学校生活や生徒会活動の場面で、自発的・主体的に行動できる人材の育成を図る。</li> <li>教育相談体制を充実させ、支援が必要な生徒に対して柔軟な働きかけを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目の前のマナー違反や問題行動の未然防止に対応する課題解決的な指導だけにとどまらず、生徒自身の成長を促す指導を心掛ける。</li> <li>職員間の情報共有を密にし、家庭・SC・SSWとの連携を図り、校内が一体化して支援を講じる。</li> </ul>
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>学びの世界を広げ、探究し挑戦する心を後押しすることにより、高い進路希望の実現を支援する。</li> <li>生徒が持てる力を発揮できるように、新たな入試制度にも対応した支援体制を構築する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が多様な選択肢を理解し、具体的な進路をイメージできるような進路指導・進路行事の充実を図る。</li> <li>模擬試験の振り返りや個別面談を通して、生徒の状況を把握し、新たな入試制度対応した具体的な対策や学習計画を支援する。</li> </ul>
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭や地域、同窓会等との協働を進め、信頼される学校作りの更なる発展を目指す。</li> <li>SSHの活動において他の教育機関や企業・地域との連携を強め、コンソーシアムの構築を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページや学校説明会等による広報活動の充実を図るとともに、地域と生徒が協働できるような地域貢献活動を実施していく。</li> <li>SSHの活動を通して他の教育機関との取組を発展させ、地域や企業などとも連携体制を築いていく。</li> </ul>
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革に向けて、TeamsやICT機器の使用方法を更に思索し業務の効率化を図る。</li> <li>生徒主体の学校行事等をさらに発展させ、課題発見・解決能力の育成を図る。</li> <li>社会から求められる様々な教育ニーズに対応できる教員指導力の向上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務の効率化を図るツールを積極的に導入し、計画から試験的運用、本格導入まで進める。</li> <li>生徒主体の学校行事においてリーダーシップやコミュニケーション力の向上を図り、様々な課題を生徒自ら解決する力を育成する。</li> <li>ICT技術の向上や新たな教育手法などの研修、人権や教育相談に関する研修を積極的に行う。</li> </ul>